

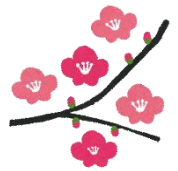
おちばすぎ

学校だより 2月号

京田辺市立普賢寺小学校

令和8年2月2日(月)

2月1日現在 児童数102名



FDGS ~認め合い 進んで学び合う 普賢寺っ子~

「心」の生活習慣

教頭 勝又 靖志

2026年が始まり、あっという間に一月が立ちました。子ども達は、新たな目標を立て次の学年への準備をしながら、学校生活を元気に送っています。3学期の子どもたちの様子を見てみると、自分から声を出して挨拶してくれる子や一生懸命掃除を頑張ってくれる子など、気持ちの良い動きがたくさんあります。また、昇降口の靴箱を見ると、下靴のかかところがきれいにそろっている子もたくさんいました。



このように、当たり前のことを当たり前にできるということはとても大切なことだと思います。こうした子ども達の様子を見て、次のような話を目にしたので、紹介します。

「欧米では、靴を履き替えず外から家へ入りますが、日本は玄関で靴を履き替える文化があります。これは一見面倒くさい行為かもしれませんが、「靴を脱ぐ」→「足元にけじめをつける」ということで、心をリセットしてきたのです。(決して欧米の文化を批判するわけではありませんが)、これは日本特有の習慣です。人々がこのことに気づき、心を注ぐことができれば、けじめのある落ち着いた生活を送るきっかけができるのではないのでしょうか。」

また、ニーチェの言葉という本に書かれていた「心の生活習慣を変える」という話も見つけたので、こちらで紹介します。

「毎日の小さな習慣の繰り返し、慢性的な病気を作る。それと同じように、毎日の心の小さな習慣的な繰り返し、魂を病気にしたり、健康にしたりする。例えば、1日に10回自分の周囲の人々に冷たい言葉を浴びせているなら、今日からは、1日に10回は周囲の人々を喜ばせようではないか。そうすると、自分の魂が治療されるばかりでなく、周囲の人々の心の状況も確実に好転していくのだ。」

子ども同士や子どもと大人との日々のつながりや何気ない会話の中で、慢性的な病気を作り出していないか、ということを私自身改めて振り返ってみようと思った言葉でした。こうした小さなことにも目を向ける習慣をつけて、それを積み重ねていくことで、普賢寺っ子のよりよい生活が作り出されるのではないかと思います。

2月の主な行事予定



2日(月) 国際交流プログラム(3年)

4日(水) 全校朝礼

5・6年:水曜6校時 委員会

5日(木) アイマスク体験(3年)

17日(火) 入学説明会・体験入学・親塾(新入生)

18日(水) 図工展(~20日) 放課後子ども教室
児童朝礼

19日(木) クラブ(後期最後)

20日(金) 6年生を送る会(学習発表会)

25日(水) 5・6年:水曜6校時 委員会

26日(木) じゃがいもの植え付け(1・2年のみ)

地域の「宝」を学びの力に！インドとの国際交流プログラム

本校では、京田辺市の「インド交流事業」をきっかけに、同志社大学や JICA 関西と連携した特別な学びをスタートさせました。このプログラムは、3 年生を対象に「知る・感じる・伝える」の 3 ステップで構成されています。第 1 回は JICA 元隊員による講演でインドを学び、第 2 回は大学生の企画によるカバディ体験やサリー試着を行いました。そしてクライマックスの第 3 回(2月2日)では、現地の学生とオンラインで交流する予定です。外国語活動でのクイズに加え、音楽、書写など他教科の成果を組み合わせることで日本の文化を伝え、双方向の豊かなコミュニケーションを実現します。「大学のあるまち」という地域の強みを生かし、専門的な知見を持つ大学生や社会人と触れ合うことで、子どもたちは「何のために学ぶのか」を肌で感じる事ができました。今後も地域という「宝」を教育課程に取り入れ、社会に開かれた質の高い学びを創造していきます。



その他学校の様子につきましては HP でご紹介させていただいております。日々更新を続けておりますので是非ご覧ください!!京田辺市立普賢寺小学校で検索をお願いいたします。

ひだまり～学校を支えるチカラ～

日頃から学校を支えてくださっている方々を紹介するコーナーです。
学校だよりで順不同でご紹介させていただきます。



辻尾 仁郎 様

天王地域にお住いの書家。

市内9小学校、3中学校の門標を書く等書を通して市に貢献しておられます。本校でも3年生の書道の指導にあたっていただいたり、毎年大筆を使った書き初め大会にも講師としてお越しいただいております。

学校だより「おちばすぎ」の題字も辻尾先生の書です。

新しい学校だよりの感想をお寄せください。下の2次元コードを読み取っていただきご回答いただけたら幸いです。(2月26日まで)



今後の参考にさせていただきます。

ふげんじ日和

通級指導教室より



いつも子どもたちの成長を温かく見守っていただき、ありがとうございます。今年度より通級指導教室を担当させていただいております。

私には大切にしている時間があります。それは休日に家族の好きな料理を作り、一緒に食卓を囲むひとときです。平日は子どもの塾や習い事で忙しく、家族揃ってゆっくり食事をするのが難しいため、休日のどんらんは私にとって何よりの楽しみであり、大切な心の充電時間にもなっています。

さて、今年度からいよいよ本校で「自校通級」がスタートしました。通級指導教室は、普段の教室を少し離れ、一人一人の得意なことや苦手なことに合わせて、自分らしく学ぶための「コツ」をじっくり見つける場所です。眼鏡をかけると黒板が見えやすくなるように、その子に合った学び方や人との関わり方を練習し、「できた!」「わかった!」という自信を積み重ねていきます。

それと同時に、ここが子どもたちにとって、家庭の食卓のように「ホッとできる心の居場所」になれることを目指しています。ありのままの自分を受け入れ、エネルギーを蓄えて、また笑顔で教室へ戻っていく。そんな温かい伴走を心がけてまいります。新しく始まった通級指導教室を、どうぞよろしくお願いいたします。

